第２学年　国語科授業実践

１　単元名　　スイミー

２　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の様子や行動を具体的に想像している。	・粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の考えたことや捉えたことを伝えようとしている。

３　教材のとらえ

本教材は、長年に渡り国語の教材として扱われてきた有名な物語文である。

場面の移り変わりが明確であることに加え、シンプルな表現が多く、ストーリー自体も分かりやすいことから、低学年の児童にも読みやすい作品であると考える。その一方で、文や語句を構成する一つひとつに着目すると、比喩や倒置などによる表現が盛り込まれているほか、「スイミーのとそっくりの…」などのように、日常的に用いられそうな様々な言葉の言い回しが見られる。作者のレオ＝レオニや訳者の谷川俊太郎の豊かな言葉遣いが、物語に明快で分かりやすい流れだけでなく、豊かさと深みを与えているといえるだろう。作者であるレオ＝レオニ自身が描いた物語の挿絵も、場面によって色遣いに明確な差があり、スイミーとその場面の様子や、スイミーの心情を映し出す効果があるといえる。これは、後々の学年で扱う情景描写などに繋がるものであると考えている。

授業では、表現に気を配りつつも、まずは児童の実態を踏まえたうえでストーリーの大体の把握に努めていく。今回は挿絵をあえて抜いた教科書のコピーを用いていくことで、児童から挿絵が物語に与える影響を考えたい。レオ＝レオニではなく、児童自身の想像と創造でスイミーを楽しんでもらいたい。スイミーの身の回りでどのようなことが起きたのか教科書からピックアップして共有する一方、それらを想像による絵で表現することで、より創造的な物語の読み方につながるだろう。物語の文言から事実を捉えつつも、それらがより創造的な想像として児童の読みに深みと豊かさを与えていけるように配慮していければと考えている。



４　本時の指導案

本時の目標　３の場面の内容の大体を捉え、友だちと交流して深めることができる。

本時の学習

学　習　活　動	教　師　の　支　援
１．前時の学習を振り返り、本時の活動を確認する。 ・３の場面をやったよ。　・自分で見つけたものを絵にかいた ・分かったことを絵にかいたよ。	○黒板に紙を掲示しながら内容を振り返る。
３の場面の絵を見合おう	
２．イラストをもとにグループや全体で様子を見せ合い、場面の様子の見方を広げていく。 ・へぇ、虹色ってそういう風にしたんだね。ぼくのはこう。 ・イセエビだしもっと大きいんじゃない？ ・スイミーの顔が笑顔になってる。私も変えようかな。 ・そうか。ウナギはスイミーが小さいだけでふつうのサイズなのかもしれないね。 ・なるほど！魚たちってそういう色にしたんだ。大きさや形も私のと全然違うね。 ・こんな形のクラゲもいそうだね。	○語録などをもとに交流のルールを確認し、途中の変化や真似を認める。 ・相手の方を向く。 ・しずかに最後まできく。 ・話を聞いたら簡単でもいいから反応する。 ・よりよいと思ったものは自分の絵に取り入れて描き加えてよい。（真似されることの価値） ○上手な反応や話合いが見られた時は、語録に追記する。
３．それぞれが絵を描く時に注目した言葉を出し合う。 ・虹色のゼリーのようなクラゲがいたよ。 ・水中ブルドーザーのようなイセエビがいました。 ・長いうなぎ ・見えない糸で引っ張られている見たこともない魚たち ・風にゆれる桃色のヤシの木みたいなイソギンチャク ・スイミーは元気を取り戻した ・少しずつ元気を取り戻したんだよ	【学びにむかう力】 ☆粘り強く場面の様子に着目して様子を想像し、学習課題に沿って自分の考えたことや捉えたことを伝えようとしている。（交流・話合い） ○国語的な表現に着目させながら確認する。 （倒置・比喩） ○スイミーの変化を明確にして共有する。 （少しずつ元気をとりもどした） ○変化を受容する反応があったら価値づける。
４．自分の考えを深めるきっかけになった児童や言葉を伝え合う。 ・○○さんの魚がとてもきれいなので真似してみました。 ・△△さんのイセエビがよかったから描いてみた。 ・□□さんの少しずつっていうのが、気づかなかった。 ・描いてないけど、□□さんの話を聞いてなるほどと思いました。	・物語の深まりに結びつくことがあったらピックアップして全体に共有する。 ex うなぎ…人間の視点ではそれほど大きいわけではない→スイミーの視点では長い＝スイミーの大きさをイメージできる。
５．次回の学習を計画する。 ・次は４の場面をやるよ。 ・スイミーが兄弟たちを見つけた場面だね（△） （兄弟ではなく、兄弟と同じような別の魚たちである） ・次はなにがあるのかな？	○自由に発言させながら、児童のあらすじの捉え方が適切か判断し、次回の指導事項の材料を検討する。 ○スイミーの台詞が初めて出る場面なので、次回に向けて業間の課題を与えて想像を膨らませる。 ex「T：スイミーってどんな声だと思う？」